

一般社団法人 National Clinical Database

2021 年度事業報告書

National Clinical Database（以下 **NCD**）は臨床現場の医療情報を体系的に把握し、医療の質の向上に資する分析を行う。その結果を以て一般市民に最善の医療を提供し、適正な医療水準を維持することを目的とする。**2021** 年度は、以下の事業を実施した。

（１）医療情報を集積したデータベースの維持管理及び提供について

- データ入力仕様の要望を加盟学会より受け付け、改訂を行い、正確なデータ収集を図った。ソフトウェアの品質向上に努め、システム保守及び管理業務の安定化を図った。
- 症例登録において、追跡調査の補助機能を継続的に開発し、フォローアップ情報の入力向上と状況把握を支援した。
- がん登録の領域拡大を図った。
- **JCVSD-A**、**JCVSD-C**、消化器外科、乳腺外科、呼吸器外科、**J-PCI**、小児外科等の領域で、データの集計・分析結果を施設診療科が確認できるフィードバック関連業務を行った。
- **DPC**・レセプト情報の集積システムの管理およびデータ利活用の研究を継続した。

（２）データベースを活用した医療水準の評価及び臨床研究の支援について

- 各学術団体によるデータ利用研究や学術調査、各学会のアニュアルレポート作成を支援した。
- データの質の検証業務に新たにリモート型を加え実施した。引き続き各領域でのデータ検証を支援した。
- 自施設データダウンロード機能を継続的に提供し、医療品質の評価等に寄与した。

（３）データベースの運用による関連団体との業務連携について

- 専門医制度との連携において、各種申請システム等の開発及び維持管理を継続的に行った。
- 専門医制度上の基本領域以外の学術団体においても、準会員として **NCD** を通じた研究支援やデータベース連携を図った。
- 産学官連携において、医療機器等に関する製造販売後データベース調査を支援した。
- 各領域の学術総会において、**NCD** 関連のプログラム等での連携を行った。
- 電子カルテメーカーとの業務連携を強化し、院内情報システムの中に **NCD** 症例アップロード機能を連動させた。

（４）法人の目的を達成するために必要な関連事業ならびに業務について

- セキュリティ、個人情報の保護、知的財産の管理を行うとともに、危機管理及び事業継続のための対策を講じた。
- データセンター内のサーバ管理環境や運用方針を見直した。
- 医療政策に資するエビデンスに基づいて、行政に提言を行い評価された（ロボット支援手術関連）。

以上